

議員提出第4号議案

30人以下学級の実現を求める意見書

上記の議案を別紙のとおり、会議規則第13条の規定により提出する。

平成15年2月25日

提出者

足立区議会議員	伊藤和彦
同	大島芳江
同	針谷みきお
同	渡辺修次
同	橋本ミチ子
同	小野実
同	今井重利
同	鈴木秀三郎
同	ぬかが和子
同	さとう純子
同	村田晃一
同	鈴木けんいち

足立区議会議長 鈴木 進 様

(提案理由)

政府に対し、30人以下学級の実現を求めるため、本案を提出する。

30人以下学級の実現を求める意見書

完全学校週5日制や新学習指導要領が実施され、子ども達を取り巻く学習環境がめまぐるしく変化する中で、学校生活や学力低下を懸念する声が、保護者をはじめ、社会全体で日増しに大きくなっている。

このような状況の中、全ての子どもがわかる授業を実現し、豊かな人間関係を築ける教育環境を整備するために効果的である、30人以下の少人数学級制を、地方自治体独自に導入する動きが広がっている。

少人数学級制を実施した地方自治体では、少人数学級を導入したことにより子どもたちや教師、そして保護者も、ゆとりが確保でき指導の充実が図れ、学習内容、基本的な生活習慣などを確実に身につけられると、その教育効果を明らかにしている。

よって、足立区議会は政府に対し、よりよい教育環境を整備、構築するため、少人数学級制への取り組みを国の責任で実施するとともに、地方自治体が独自に少人数学級制を導入できるための必要な財源措置と制度改善を強く求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

平成 年 月 日

足立区議会議長名

内閣総理大臣

財務大臣 あて

文部科学大臣